

夏、 下妻まつり。

Shimotsuma Festival

2026

8月22日、下妻市の夏の風物詩「下妻まつり」が開催されました。砂沼南岸を中心とした会場には約2万3千人が訪れ、夏の夜を楽しむ笑顔と熱気に包まれました。

オープニングセレモニーには、お笑いコンビ「インパルス」の堤下敦さんと、昭和アイドルをコンセプトに活動する6人組アイドルグループ「Bybe物語（バイビーロマンス）」が登場。堤下さんの軽快なトークや、Bybe物語による華やかなパフォーマンスが会場を沸かせ、祭りの幕開けを大いに盛り上げました。

ステージでは、子どもたちによるダンスや高校生のパフォーマンス、フラダンスなど、多彩な演目を披露。力いっぱい踊る姿に大きな拍手や歓声が送られました。子ども向けの体験イベントやフотスポットも人気を集め、マーケットエリアには模擬店やキッチンカーが並び、祭りならではの食を楽しむ人のにぎわいました。

夜のフィナーレを飾ったのは、砂沼の夜空を彩る約3,000発の花火。湖面に映る光とともに次々と打ち上がる花火に、会場からは大きな歓声が上がりました。下妻の夏を彩る、特別な一夜となりました。



《 令和7年度 》

株式会社ふれあい下妻の 経営状況をお知らせします

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの経営状況（第28期）を公表します。

🔍 厳しい環境の中、売上向上に取り組みました

物価高騰の長期化による仕入価格や光熱費の上昇、人手不足、農作物の入荷量不足等により厳しい商業環境が続く中、道の駅しもつまでは地域産品への関心の高まりや観光需要の回復を背景に、品揃えの充実、サービス向上及び誘客促進に努めるとともに、価格設定や原価の見直しにも継続して取り組みました。

販売面では、本年度にテレビ番組で道の駅しもつまが紹介されたことにより、放映後の来場者数及び売上高の増加につながりました。また、年間を通じて各種イベント企画や販売促進策に取り組んだ結果、従業員が一丸となって売上向上に努める体制が強化されました。

📈 売上高は過去最高に。さらなる経営基盤の強化へ

これらの取組により、本年度は売上高が前年対比11.3%増となり過去最高額を達成するとともに、来場者数についても前年を上回るなど、一定の成果を収めることができました。

一方で、昨今の物価高騰などによる経費の増加により、安定した利益を確保することが引き続き大きな課題となっています。引き続き、商品力の強化、サービスの向上及び店舗運営の更なる効率化を推進し、安定した経営基盤の構築と持続的な成長を目指す方針です。

※第三セクターである(株)ふれあい下妻は、市から独立した事業主体として、関係法令にのっとりながら、自らの判断と責任による経営が行われております。

